

2019年9月吉日

善通寺市長 ならびに 善通寺市教育委員会 御中

9月10日に発生した小学生交通事故死にかかる再発予防に関する要望

NPO 法人 Safe Kids Japan
理事長 山中 龍宏

日ごろより子ども達の事故予防活動に積極的に取り組んでおられることに対し、感謝と敬意を表します。

今年度、貴市は「子どもの傷害予防」を目的として、貴市で勤務する保育士および小学校教員を対象とした研修等の事業を「子ども安全ネットかがわ」に委託されました。私たち NPO 法人 Safe Kids Japan は、「子ども安全ネットかがわ」と協働し、教育用の動画制作や研修講師という形で力を尽くしているところです。

そのような中、本年9月10日に発生した貴市立東部小学校1年生児童の交通死亡事故は、大変痛ましい事案であり、同時に当会の取り組みの至らなさを痛感している次第です。教職員の方々に向けた研修だけでは児童・生徒の安全を確保することはできず、貴市はじめ、教育委員会や香川県警察等のお力をお借りして、具体的かつ効果のある再発予防策を実施する必要があると考えております。

「子ども安全ネットかがわ」代表の仙頭 真希子氏は、すでに市長および教育長に面会され、口頭にていくつかの要望をお示ししたと伺っております。それらの要望のうち、実施可能な施策については早速実施していただきたいところですが、現時点では実施不可能な施策についてもぜひご検討をいただきたく、お願いを申し上げます。

具体的には、下記の再発予防策を実施していただきたいと考えます。

1 原因究明と再発予防策の検討

今回の事故がどのような原因と経緯で発生したのかを明らかにし、それを全市民に公開してください。また、再発予防策については、市だけでなく、学校、警察、自治会、交通安全の専門家等からなる検討会を設置し、具体的かつ有効で持続可能な予防策の策定をお願いいたします。

2 通学路の明確化

通学路を明確に指定し、歩道の確保やガードレールの設置、また、低学年の児童にも通学路であることがわかるような道路塗装等、具体的な安全策を講じてください。

3 道路の工夫

通学路に指定された道路にはイメージハンプや狭さくの設置、信号の歩車分離化など、車両のスピードダウンや人と車両との接触を避ける工夫を施してください。

※イメージハンプの例 <http://blog.esuteru.com/archives/9300886.html>

※狭さくの例 <https://kodomo-anzen.org/visits/visitslist/1937/>

4 児童・生徒の視認性向上

児童・生徒、子ども乗せ自転車等には反射材を配布し、帽子や通学かばん、自転車ヘルメット等に付けるよう周知してください。

また、上記「1」と重複しますが、今回のような重大事故が発生した際には、いち早く（遅くとも事故発生日の2日後までに）その事故の概要および再発予防策を、全保護者および関係者にお示しいただきますよう合わせてお願い申し上げます。重大事故が発生しますと、児童・生徒はもとより、保護者・関係者も大きな衝撃を受けます。何が起きたのか、二度と同じ事故を起こさないために、学校は、教育委員会は、市は何をどう取り組もうとしているのか、をご説明いただくことで、児童・生徒、そして保護者・関係者もただ悲しみ混乱するばかりではなく、起きたことに向き合い、今後の方向性について冷静に考えることができます。

そして、この要望書を受領された貴市および貴委員会がどのような施策をとられたか、あるいはとられるご予定か、当会としてその経過を把握したいと存じますので、大変恐れ入りますが、貴市および貴委員会のお取り組みについてご連絡をいただければ幸いです。

以上、大変厚かましい要望にて恐縮ですが、児童・生徒の交通事故を予防するため、どうぞよろしくご検討のほどお願い申し上げます。

NPO 法人 Safe Kids Japan <https://safekidsjapan.org/>

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立成育医療研究センター 社会医学研究部内

(担当：事務局 太田)

TEL：080-4689-2026